

竜ヶ崎二高だより No.7

令和元年 11 月 29 日発行

この先へ行こう

校長 宮本 順紀

「さよなら涙、この先へ行こう。」という歌詞の曲が使われている CM がテレビで時々流れます。その曲を歌っているのはビリー・バンバンという兄弟デュオです。今年でデビュー 50 周年を迎えたそうです。1969 年、昭和 44 年に『白いブランコ』という曲でデビューし、大ヒットしました。私はまだ竜ヶ崎小学校の児童の一人でした。テレビの歌謡番組（すでに死語かもしれませんが）をとおしてよく耳にしていました。先に述べた CM は 1988 年に始めたそうです。30 年以上にわたり、特定の会社の CM で何曲も歌い続けてきました。女性歌手がカバーして大ヒットした『まだ君に恋している』という曲もあります。CM の曲作りの長さだけで私の教師としてのキャリアに匹敵する長さになることに驚きます。

ビリー・バンバンというのはデュオグループ名ですが、メンバーは菅原孝と菅原進の兄弟です。孝は昭和 19 年生まれですから 75 歳になります。進は 3 歳年下の昭和 22 年生まれです。孝は慶應義塾大学を卒業しています。進は青山学院大学を卒業しています。当時は大学短大進学率が急上昇し 20%を超えたころです。それでも現在よりも大学や短大に進学する人はかなり少なかったころです。昭和 44 年ころは若者がフォークソングに夢中になっていた時代です。高度経済成長の末期で、働けば働くほど収入が増える時代が落ち着き始め、環境破壊などが目立ち始めたころです。進は歌手になりたかったそうで、兄は進につきあう形で歌手への道を選びました。そして歌手として、紆余曲折を経ながらも 50 年の年月を重ねてきました。必ずしも順風ではなかったようです。兄弟でけんか別れをしたこともあったそうです。

2014 年に二人に大きな転機が突然訪れました。弟の進が 5 月に大腸ガンで手術をしました。7 月には兄の孝が脳溢血で倒れました。孝は塩分を押さえた食事をしたりジョギングをしたりして健康に気遣っていたようですが、それでも病に倒れました。その後、リハビリをし、翌年にはステージに復帰しました。そして 2016 年には弟の進が作曲した CM 曲の『さよなら涙』を発表し、その曲はいまでも時々 TV で流れています。

実は先日、ビリー・バンバンの 50 周年を記念するコンサートに行ってきました。ビリー・バンバンのコンサートは初めてです。50 周年記念という響きが気になりチケットを購入しました。弟の進からは変わらぬ美しい歌声を聴かせていただきました。車いすに座って兄の孝は歌いました。兄は病気のリハビリがまだ続いているようで、音を外すことが多々ありました。しかし、その二人が誠実に歌い上げるハーモニーは私の心に深く響き、忘れられないコンサートになりました。「この先へ行こう」という『さよなら涙』のフレーズが CM で流れるとその感動が蘇ります。そして勇気づけられます。曲全体としては違った解釈をするのが素直な聴き方かもしれませんが、「この先へ行こう」というフレーズは、苦難を乗り越えて先に進む二人の姿をイメージさせてくれます。二人の人生の年月、病気を乗り越え、歌手という職業を続けてきた 50 年の重みを考えずにはられません。在校生の皆さんにどのような将来が待っているかわかりませんが、どんなことがあっても負けずに、「この先へ行こう」という思いを持って、歩み続けてほしいと思っています。



第 45 回 竜峰祭が行われました



11 月 1 日（金）、2 日（土）の 2 日間、本校の文化祭である「竜峰祭」が行われました。今年のテーマは「Ribbon～未来へ結ぶ、みんなの想い～」、生徒たちは協力して準備を進めました。

1 日目は各クラスのステージ発表が行われました。審査の結果、3 年 2 組、3 年 4 組、1 年 3 組の 3 クラスが同点で 1 位になりました。2 日目は一般公開され、多くの方々に訪れていただきました。投票で決まる垂れ幕コンテストの結果は、1 位 3 年 4 組、2 位 2 年 4 組、3 位 1 年 1 組でした。クラス企画特別賞には 3 年 4 組が輝きました。なお、10 月 31 日（木）の 13:30～40 にかけて、竜峰祭に向けた準備の様子が FM うしくうれしく放送で生放送されました。



秋季学校説明会が開催されました



11 月 13 日（水）県民の日、本校で秋季学校説明会を実施しました。今回は、中学生・保護者計 127 名が参加を希望してくれました。説明会では、学校長挨拶ののち、生徒会役員 4 名が学校の概要と 1 年間の学校生活を、続いて商業科の生徒 2 名と人間文化科の生徒 2 名が、それぞれ学科の特色についてプロジェクターを用いて説明しました。全体会終了後は生徒 4 グループ、保護者 1 グループで校内の見学を行いました。

来年 4 月の出会いを楽しみにしています。



「りゅうがさきフューチャーセンター」で 龍ヶ崎市の将来について話し合いました



11 月 17 日（日）10:00～14:00、本校会議室において「りゅうがさきフューチャーセンター」を開催しました。地元龍ヶ崎市の活性化をはかるため、本校で 2017 年度から行われており、今年で 3 年目になります。

この日は、本校生徒 8 名、中学

生 2 名をはじめ、本校 OG・OB 4 名、龍ヶ崎市役所から 5 名、一般の方々 8 名のおよそ 30 名が参加しました。午前中は 4～5 名で 1 グループとなり、世代を超えて地域の課題について話し合い、アイデアを出しあいました。午後は、話し合ったアイデアを発表し最後はみんなで振り返りの時間を取りました。

当日の様子は、11 月 19 日付けの茨城新聞に掲載されました。また、FM うしくうれしく放送の収録が行われ、後日放送される予定です。



「道徳」ならびに公開授業を実施しました



11 月 18 日（月）5 時間目に、1 学年で「道徳」、2 学年で「道徳プラス」、3 学年で公開授業を実施しました。

当日は、評議員 1 名、小学校 1 名、中学校 2 名、高校 1 名の計 4 名と将来教員をめざす茨城県主催の「教師塾」から 5 名の計 9 名が参観に訪れました。



家庭クラブの生徒 8 名が NHK 水戸放送局の番組 に出演しました



11 月 20 日（水）、人間文化科の 1～3 年生で家庭クラブに所属する 8 名の生徒が、NHK 水戸放送局の情報番組で 18:10～19:00 に放送されている「いば 6」に出演しました。この日は龍ヶ崎コロッケを紹介する内容で、コロッケフェスティバルへの参加をはじめ日頃の活躍が目にとまり出演の依頼が舞い込みました。場所は、関東鉄道鉄道竜ヶ崎線（通称「竜鉄」）の引き込み線内、この日の運行予定がなかった「まいりゅう号」からの中継となりました。18:10 に市内「どらすて」からの中継で番組がスタート、市内の精肉店の方々のインタビューに続き、龍ヶ崎市内のコロッケとともに本校の「はんぺんコロッケ」と「たんたんコロッケ」が紹介されました。